平成 20 年 11 月 4 日

各 位

会社名　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　代表取締役社長　黒田　直樹
コード番号　1605　東証第 1 部
問い合わせ先　広報・IR ﾕﾆｯﾄﾞｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　板野　和彦
電話番号　03-5572-0233

ブラジル連邦共和国カンポス堆積盆地 BM-C-31 鉱区の取得について

国際石油開発帝石株式会社は、今般、子会社であるブラジル現地法人 INPEX Petróleo Santos Ltda.を通じて、ブラジル南西沖カンポス堆積盆地 BM-C-31 鉱区の権益 20%を Shell から取得することについて、ブラジル国家石油庁（ANP）の承認を得ましたので、お知らせいたします。

BM-C-31 鉱区はリオデジャネイロ東方の離岸距離 150km に位置し、水深は 1,750-1,950m、鉱区面積は 710km^2 となっております。今回の譲り受けにより、本鉱区の権益保有比率は、オペレーターのブラジル国営石油会社（ペトロブラス）60%、Shell20%、当社 20%となります。

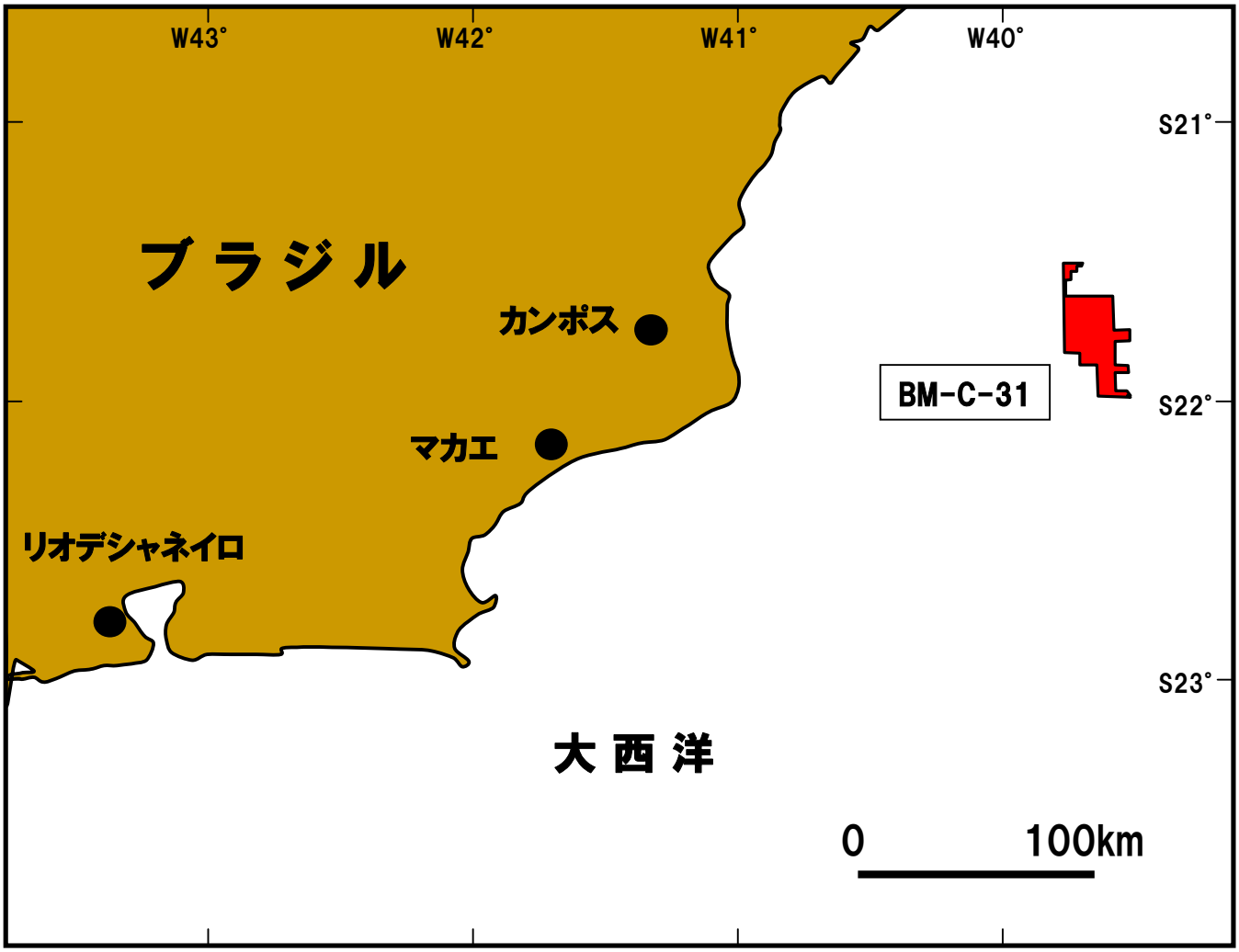
本鉱区は、油ガス田が数多く確認されているカンポス堆積盆地に位置しており、今後、原油・天然ガスの発見が期待できる有望エリアと考えております。また、中南米最大手の石油会社であるペトロブラスは、大水深の石油・天然ガス開発に強みがあり、同社のオペレーターシップの下で協力して事業を実施することにより同社との関係が強化され、当社の更なる事業拡大が期待されます。

当社は、南米地域を投資戦略上のターゲットエリアとしております。ブラジル南東部カンポス堆積盆のフラージ油田開発事業（注）では、現在、2009 年の生産開始に向け開発作業を進めております。当社では、大規模な原油・天然ガスの埋蔵の発見が相次ぐブラジルをはじめ南米地域において、原油・天然ガス資産を一層拡大するため、今後更なる探鉱・開発事業を推進してまいります。

以上

（注）フラージ油田開発事業
権益保有者は、FJPL(当社の持分法適用関連会社の子会社)18.3％、Chevron（オペレーター）51.7%、ペトロブラス 30%。2006 年 6 月最終投資決定を行い、現在、2009 年の生産開始を目指して開発作業を進めております。ピーク時の原油生産量は、日量 10 万バレルの予定。

BM-C-31鉱区　位置図


W43°
W42°
W41°
W40°
S21°
S22°
S23°
ブラジル
カンポス
マカエ
リオデシャネイロ
BM-C-31
大西洋
0
100km

BRAZIL